

外国人の人たちに、もつと大阪を楽しんでほしい。

時の人・インタビュー

「おおきに」って外国人観光客の人が言ってくれたら、絶対盛り上がるでしょ?」「なんでやねん」「ええやん」など大阪弁を外国人観光客向けに解説した

「オオサカ学習帳」が話題になっている。

メディアでも取り上げられ、中央図書館からは献本の依頼もあった…。

「ニューヨーク、パリ、難波」。

ミナミ「LOVE!」の熱いハートで、人と商店街と地域を結ぶ

牧香代子さんにお話をうかがいました。

(聞き手:中田真弥子)

—ミナミの街づくりとインバウンドに関わるようになつたきっかけをお聞かせください。

10年前に仕事を辞めて、何しようかな?という時期に、日本橋筋商店街で、中国語の地図を作ったのが最初でした。理事長の蘇さんが華僑の方で、いずれ大陸からたくさん的人が来るから、備えたいと。半年かけて作った地図が評判でその後、この会社を立ち上げました。ミナミの「この子、面白い!」つながりの人をどんどん紹介してくれるんです。それで、いろんな地図やホームページの翻訳をしたり、イベントを企画したりと商店街と関わっていくようになりました。

でもインバウンド関係はお金になつていません。私もミナミに骨を埋めるつもりでしたから、仕事というより街の員としての気持ちでやってくようになりました。

—「オオサカ学習帳」はどう生まれたのですか?

イスズホテルさんと一緒に、難波のローカルな場所を巡るツアーをやっています。道具屋筋だったり、「うなんば」だったりね。そんな中で「外国人たちに大阪弁しゃべてもうんば」だったりね。そんな中でう発想がでてきた。「おおきに」、「Thank you」、「まいど」、「Hello」という風に紙芝居でレクチャーしたんですが、それだけ

とその場だけになつてしまふ。学習帳にして持つて帰つてもうんばたり、日本語を学んだ、リピーターになつてくれるかも知れない、それを見た誰かが大阪に興味を持ってくれるかも知れない、といつ思ひで作りました。受け入れる側が、英語や中国語を学べばいいじゃないか、という人もいますが、逆に外国人の人に日本語を学び、大阪弁を喋つてもうんばかけ作りをする。こんなことができ

—今後のインバウンド対策としてはなにがあるでしょうか?

今、考へているのが、大阪の食を伝えていくということ。例えば、フィリピンでは日本料理屋がたくさんあります、あまり美味しい暮らしです(笑)。そこで、現地の料理店のセントラルキッチンに入つて人たちが大阪に来て、勉強会で大阪で学んだ」ということがステイタスになればいいなと……。

ミナミにはビジネスだけではなく「本物の味をわかつてもうえるな」と協力を惜しまない、そういう土壤があると思います。

—様々な商店街と関わってきた牧さんは、ミナミの街だからこそではないか、と思いますね。

川べりで盆おどりなんて、他所にみんなも楽しませて。

大阪に来たら、まずは道頓堀、というのが定着してますよね。その上で食の街、芸の街であつてほしい。たこ焼きを超えるソウルフードがこれまで生まれてくるかも知れない。

うどんやたこ焼きもできた時は新しくて、珍しかったわけですから。だから生まれてくるかも知れない。

「ええやん」の女性は牧さんがモデル。娘さんがモデルになっているイラストもあるとか。



牧 香代子 (まき・かよこ)

北京外国语大学に留学。

商社でアジア担当のバイヤーとして勤務ののち、イベント企画・デザイン制作を行う有限会社リンクコーポレーションを設立。

10年前からミナミの街づくりに携わり、インバウンドのコンサルタントなどでも注目を集めている。



オオサカ学習帳
「ジャパンニ学習帳」のメーカー、ショウワノートからも「完成度が高い」とお墨付きで、デザイン借用の許諾を得た。大阪らしいヒョウ柄がポイント。

販売品としては1冊200円で対応。

大量発注はご相談を。

【お問い合わせ】Tel:06-4396-4488



世界の難波へ
大阪のおもてなしはここから始まった
—インバウンドと街づくり・人づくり
(レベル刊 1,620円)
今年3月に発行された牧さんの著書。道頓堀商店会の今井会長も登場しています。

道頓堀商店会情報

商店会の中長期的な行動計画が決まりました。

道頓堀のまちは、インバウンド観光客の増加でにぎわっていますが、国内からの来街者は減少傾向にあります。近年は、国際経済や社会環境の変化で商店街のにぎわいも影響を受けやすくなつており、先行き不安の将来を見越した対策を立てる必要があります。そこで、100年後もにぎわいのある「道頓堀」であり続けるため、特別委員会「道頓堀500」を立ち上げ、6回の研究会を開催するなど、さまざまな議論を積み重ねてきました。

このほど報告書がまとまりましたが、その中から「中長期的な行動計画」における主な取り組みと、実施体制について紹介します。なお、会員の皆様には9月末に報告書を配布します。

◆違法駐輪対策、環境浄化の取組みを推進します

放置自転車対策、清掃活動、客引きパトロールなどを継続実施することにより、昨年実施しましたグリーンスポット設置の社会実験を隣接商店街や外部団体とも連携して、継続的に実施します。グリーンスポットについては違法駐輪の減少効果を上げる同時に、広告媒体の設置、スポットの場を活用したライブ開催など、収益性やイベント性を図ることも検証していきます。

◆資産価値の維持・向上のために

インバウンド対応の店が増加しつつありますが、オーナー会を定期的に開催し、建物・土地の資産価値の維持・向上、優良なテナント誘致や良好な環境を維持するためのルール化について話し合います。

◆ライブ・エンターテイメントの定着化

商店会、あるいは商店会から委託された外部組織等が、路上や店舗の空きスペース、とんぼりリバーオークなどを借りてライブ等の企画・運営をマネジメントし、ユニークなアイデアのライブ・エンターテイメントが開催される環境・体制を整備します。

◆店長会の定期開催

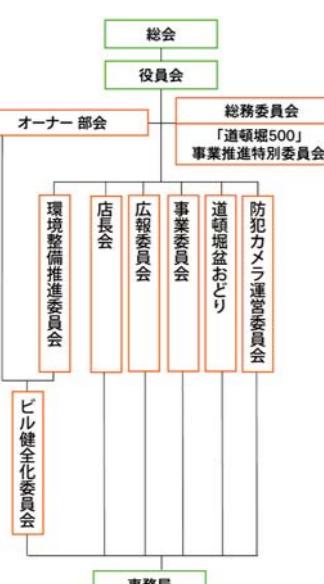
情報交換や、各店舗が連携した合同版促企画や協力関係ができるような親密な商店会環境ができることが重要です。そのため、店舗間の交流によるネットワークを定期開催します。

◆平成28年度事業実施体制について

上記にあるような中長期的な行動計画の事業化を検討し、推進していくために、左記の通り事業の推進体制を決定しました。



平成28年度以降の事業実施体制



平成28年度以降の事業小委員会と主な活動

委員会名	主な活動	主な担当
総務委員会(「道頓堀500」事業推進特別委員会)	組織体制の検討見直し 「道頓堀500」の事業の推進(各委員会との連携、調整)	◎永尾・上山・中井・野村
オーナー部会	会員交流、啓発セミナー、商店会未加入者対策	◎植田・柴田・中井
店長会	店長間の交流・勉強会の開催、表彰制度の実施	◎進藤・上山(仲橋)
広報委員会	HP、Wi-Fi等のIT環境の検討、および会報等での発信	◎川北・角田・永尾
環境整備推進委員会	客引き、放置自転車、はみ出し看板対策など	◎角田・野村・上山
事業委員会	イベントの企画・実施 ①道頓堀川灯祭の会議参加(いっとこミナミ実行委員会)等	◎柴田・川北・永尾
道頓堀盆おどり	②賑わいづくり(グリーンスポットの常設化に向けた状況整理)、演芸団体との連携等	◎野村・加西
ビル健全化委員会	道頓堀盆おどりの企画・実施	◎永尾・上山・角田・川北・進藤
防犯カメラ運営委員会	健全で良好な環境の維持に向けたテナント入居等の自主規制等	◎角田・植田
	防犯カメラの管理(管理責任者:会長、副管理責任者:段)	柴田・田中・中井・北辻